

やまゆり

学校だより

令和5年1月26日
80号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行する一
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「小中連携」

「市川先生」が小学6年生に「理科」の学習指導をしました

1月24日(火)に市川先生が、小学6年生(9名)に理科の学習指導をしました。中学校に入学する「小学生の学習への期待を高め、不安を減らす」目的で行いました。教職員の働き方改革の中で、このような連携指導を廃止している学校もあります。本校では、教職員の本業である学習指導や児童・生徒の不安や緊張を低下させ、主体性を向上させる指導に重点をおきながら働き方改革を推進しています。

学習指導は校内研究の一環として行い、中学校からは10名の教職員が参加しました。また、授業終了後には、指導の成果を各自の実践に生かすための校内研究も開きました。

6年生担任の新田先生とも連携し、「児童にとって分かりやすく、中学校での学習が楽しみになった」という感想を得ることができました。

今後も小中一体型校舎の利点を生かし、小中連携を充実させたいと思います。

理科の指導者 市川先生 多目的ホールで理科の実験をしました 小中の教職員14名参加



6年生の理科の学習の感想

- 授業が分かりやすくすごかった。

・コーラが透明になったことに驚いた。・ヨウ素液は、ビタミンCと混ぜると透明になるのを初めて知った。・お茶には、意外とビタミンCが入っていてすごかった。

- 中学の先生に教えてもらって、いつもと違う感じで最初は少し緊張したけれど、実験がおもしろくてとても楽しかった。中学校の理科が楽しみになった。

・レモン果汁が一番ビタミンCが入っていなかった。予想と逆でびっくりした。

- 驚きがたくさんある授業だった。

・レモン果汁にビタミンCがあまり入っていないことが分かった。・ビタミンC飲料は、名前の通りビタミンCがたくさん入っていた。・BTB溶液やフェノールフタレイン溶液の色や名前がよかった。

- 分かりやすい授業だった。実験で色が変わってしまうのがおもしろいと思った。予想と違うことが多く、驚く授業でもあった。楽しかった。

・お茶にはビタミンCは入っていないと思ったが、入っていてびっくりした。

- 実験では予想と結果が違ったことに驚いた。

・レモン果汁にビタミンCがあまり含まれていないこと。また、お茶にもビタミンCが含まれていたことに驚いた。

- 今日の授業を受けて、最初は緊張した。実験では、レモン果汁が一番ビタミンCが多いと思っていたが違った。とても楽しい授業で、早く中学校に行きたいです。

- 授業がとても楽しかったです。中学校の授業が楽しみです。

・ヨウ素とビタミンCを混ぜると透明になり驚いた。予想では、レモン果汁が一番ビタミンCが入っていると思ったけれど、お茶の方が多くてすごい！と思いました。

- とてもおもしろくて分かりやすい授業でした。勉強が苦手な自分でも楽しく出来ました。中学校で授業を受けるのがとても楽しみになりました。

- ぼくは、中学校の授業のことを全然知らなかった。「中学校の先生は、授業の前に飲み物を飲むんだ」と思っていた。しかし、「本当はコーラではなく、ヨウ素液だった」ことが一番心に残っています。中学校の授業の雰囲気も知る事が出来たし、楽しくビタミンCについて学ぶことができて良かった。

児童にとって成果のある連携をすることが重要です

6年生のほとんどが、「驚きと楽しさのある学習に、集中して取り組んでいました」。しかし、小学生が中学への入学前の学習指導によって、「不安や期待を裏切ることを体験」してしまうと取り返しのつかないことにもなりかねません。

一番の大きな課題は、児童のことや集団の様子を知らないことです。新田先生からの丁寧な情報提供やQU等の情報をもとに、細心の注意をしながら児童に適切な学習指導を心掛けました。
個人と集団の実態に、適切な指導を組織で共有して協働実践するのが道志中学校の特色です。

さすが6年生！ 学習指導の中でしっかり出来ていたこと

- 人の話をしっかり最後まで聞くことができる ○活動の切り替えが早い ○表情が明るい
- 集中できる時間が長い ○先生の問いに反応できる ○学習に主体的 ○^{うなづ}頷ける
- 指示のとおり適切に実験ができる ○協力して実験できる ○友人の発言に拍手ができる
- 指示された形式で自分の考えを表現できる ○背筋を伸ばして挨拶ができる
- 基本的なルールが定着している など基本的なことがしっかり定着していました。

「校長として、残りの3学期でこんなところを努力するとさらに伸びると思いました」

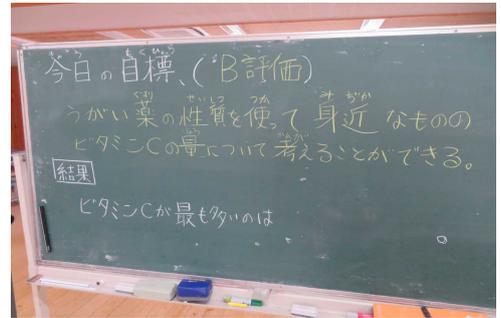
- ① 指示されたことをこなすだけでなく、自ら主体的に活動すること。
- ② 一人一人が返事や反応をしっかりすること。

理科の学習指導の様子

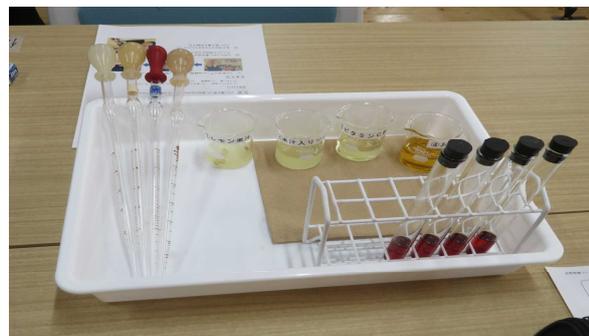
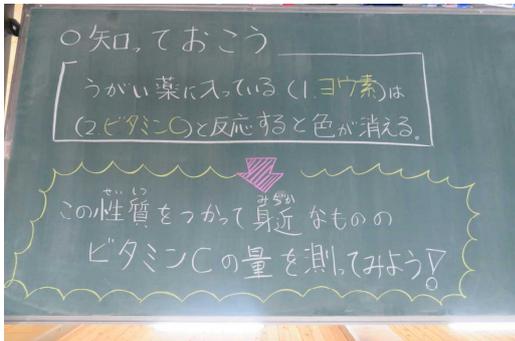
コーラが透明になる導入 なぜ？を問うのが理科の本質 学習目標の理解と共有 B評価



知識の獲得と実験への動機付け



使用した実験器具



器具の名前や使い方を実演して理解させる

実験の様子



集中して実験に没頭する児童の様子



ルールが定着し、安全に実験できる児童



担任の新田先生



実験の結果の考察記入



各自で考察を書く



実験結果とその理由



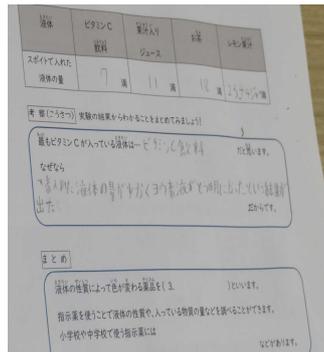
発表のルール



班の中で各自発表



まとめ「指示薬」とその効果 具体的な指示薬と反応



授業の校内研究会の様子



中学校の校内研究会での主な成果の意見

- 6年生の理科の学習指導への不安を下げ、期待を高める指導として大きな成果があった。
- 中学の学習指導の流れや様子を体験を通して学び、不安を下げる事ができた。
- 理科への興味や関心、学びへの主体性を高める事ができた。
- 個人や集団の実態をできる限り把握し、適切な指導をすることが出来た。
- 導入の大切さ。ヨウ素液を使った市川先生の演技によって、学びの動機付けや意欲を高めた。
- 構成的な枠によって、安心して一人一人が表現し、認められる言語活動を展開できた。